

少年男子リード予選傾斜を軽やかに進む本明佳(水沢高)
(岩手日報2024年10月13日付)



成年女子100メートルバタフライ決勝
59秒40をマークし4位入賞した西澤七海(神奈川大)(岩手日報2024年10月8日付)

岩手日報社の許諾を得て転載しています



SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



少年男子やり投げ決勝
6回目に76メートル59をマークし入賞した長沼元(スズキ)
(岩手日報2024年10月12日付)





少年男子グレコローマンスタイル71キロ級準々決勝
果敢に攻める伊藤慎人(右、盛岡工高)(岩手日報2024年10月8日付)



冬季大会

- ◆スケート競技会：北海道 苫小牧市
令和6年1月27日(土)～1月31日(水)
- ◆アイスホッケー競技会：北海道 苫小牧市
令和6年1月30日(火)～2月3日(土)
本県選手団/49名
- ◆スキー競技会：山形県 山形市・上山市・最上町
令和6年2月21日(水)～2月24日(土)
本県選手団/67名

本大会

佐賀県(13市11町)※大分県、鹿児島県、兵庫県を含む
 [会期前①]令和6年9月5日(木)～17日(火)
 [会期前②]令和6年9月21日(土)～10月1日(火)
 [本会期]令和6年10月5日(土)～15日(火)
 本県選手団/470名

大会成績

- ◆男女総合成績(天皇杯)
704.0点(競技得点+参加点400点)43位
(特別国体808.5点 33位、77回大会847.5点 30位)
【天皇杯得点を獲得した競技
18競技(特別国体 17競技、77回大会 20競技)】
※冬季終了時点16位(90点)
- ◆女子総合成績(皇后杯)
474.0点(競技得点+参加点350点)38位
(特別国体508.0点 35位、77回大会559.0点 28位)
【皇后杯得点を獲得した競技
11競技(特別国体 7競技、77回大会 10競技)】
※冬季終了時点16位(42点)

Athlete Voice

入賞者の声

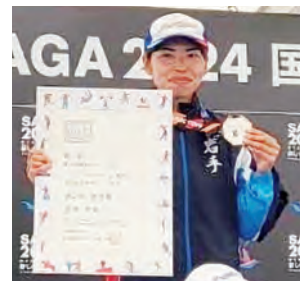
▶ 質問内容

- Q1. 順位が決まった瞬間のお気持ちを聞かせてください。
 Q2. 日々の練習や強化を進める段階で、ご苦労されたことなどがあればお願いします。
 Q3. 今回の成績を獲得することができた要因や勝利への秘策などがあれば教えてください。
 Q4. 今回の大会期間中、嬉しいこと、楽しいこと、大変だったことなど、印象に残ったことがあれば教えてください。
 Q5. 今後の目標や今後の競技生活の展望があれば教えてください。
 Q6. 岩手県の皆さんにお伝えしたいことがあればお書きください。
 Q7. 何でもご自由にお書きください

ながい まみ 永井 茉未 選手

カヌー競技
成年女子ワイルドウォーターカヤックシングル
スプリント 1500m

- A1. 1,500 mに関してはここ数年4位が続き、今年も4位になるかもしれないと思っていたので、3位が確定した時には素直に嬉しかったです。スプリント種目は、ずっと優勝を狙いながら昨年は0.3秒差での準優勝でした。その悔しさを晴らすべく臨みましたが、最後の選手に0.1秒で抜かれて準優勝が決まった時には、「またか…」と本当に残念な気持ちでした。ただ今回のスプリント種目は1本目に失敗してしまい、2本目もあまりいい漕ぎではなかったと思うので、自分の力不足だったと感じています。
- A2. 毎日こつこつとやれる範囲で練習をしてきただけなので、特に大変だったと思うことはありません。大会で長期お休みを頂いたので、職場の方々や家族が大変だったと思います。職場の方々や家族にとにかく感謝しています。
- A3. 職場や家族、カヌー協会やカヌー選手、地域の方々などたくさんの方から応援頂いたことと、諦めずに競技を続けてきたことが要因だと思います。
- A4. 嬉しかったことは夫が鹿児島まで応援に来てくれたことです。とても力になりました。また、今回はスラローム種目で奥州市の女子中学生・千葉花音選手が国スポに初出場したのですが、初出場にも関わらずごく落ち着いて頑張っていて漕いでいたので、その姿を見るのも嬉しかったです。また、ワイルドウォーターの男子で齋藤晶文選手が秋田の速い選手をブロック大会で破って一緒に国スポに出場し、共に入賞することができたのも嬉しかったです。更にはスラローム種目でも出場した藤野浩太選手が4位に入ったことも嬉しかったです。
- A5. 今後は一休みしてからまた来年、国スポに挑戦できる機会があればまた出場したいと思います。あとは選手でなくとも大会ボランティアなど、何らかの形でカヌー競技に恩返しできれば嬉しいです。
- A6. 様々な競技や分野で活躍している岩手県民をニュースや新聞などで見ると、自分ももっと頑張ろうと励みになります。自分が競技で結果を残すことで誰かの励みに少しでもなっていれば、競技を続けてきたかいがあります。



さいとう かずのり 齊藤 和紀 選手

ライフル射撃競技
センターファイアピストル30発

- A1. 最初は実感が湧きませんでした。順位表を見た時に「自分でも全国の大会でこれくらいの射撃ができるんだ」と自信と嬉しさを感じました。
- A2. 高い点数を撃ち続ける技術と気持ちの強さを持つことがとても難しいです。技術だけあっても、気持ちだけあっても、点数は伸びてくれず、自分の感情をコントロールしながら撃ち続けることを強化してきました。
- A3. 自分の射撃を貫く気持ちを持つことと、長時間集中し射撃する体力だと思います。
- A4. 全国大会では様々な選手がいますので、様々な射撃の考え方を学び取ることができるとも楽しかったです。本選ではなかなか点数を出せず、苦しい射撃でしたので、3日目の競技に気持ちを切り替えるのが大変でした。
- A5. 今回の結果は今後の射撃に様々な影響があると思います。時には自信になり、時にはプレッシャーになることもあるかと思います。しかし、このように感じられるのも、今回の結果を出せた自分しか感じる事ができない貴重な経験です。もっともっと技術と精神を鍛え、さらに高みを目指したいと考えています。
- A6. 国スポ等の全国大会を通じて、スポーツ射撃競技の楽しさやおもしろさを知っていただいて、少しでも競技に興味を持ってもらえたら、射撃だけでなく、すべてのスポーツが岩手県で盛り上がっていいと思います。よろしくお願いします。



たかはし あいと 高橋 藍斗 選手

自転車競技
男子B スクラッチ・レース8km

- A1. 凄く嬉しかったです。
- A2. 直前の合宿や練習会で成年の先輩方など自分より強い人と一緒に強度の高い練習をしたことです。また、国スポ大会の直前に強化事業として参加した都道府県大会（次国スポ大会）で3位に入賞できたことは国スポ大会へ向けて良い経験になりました。
- A3. レースの展開に焦らないで、自分なりの走りが出来たことです。
- A4. 大会の始まる2日前の公式練習の際に落車してしまい、擦傷や打撲の処置が大変だった。また、全身を打撲したために検査入院などもしたので心配でしたが、3位を取れたことは、とても嬉しかったです。
- A5. 参加する大会はどの大会でも優勝を目指します。
- A6. 少しでも自転車競技を知って貰えたら嬉しいです。
- A7. 初めての国スポで3位を取れたことは、自分にとって新たな一歩になりました。落車もあり医療スタッフやトレーナー、入院やケガの対応をしてくれた方々に支えてもらいました、この大会を応援してくれた人々に感謝します。応援ありがとうございました。



たかはしかずき
高橋和生 選手

陸上競技
成年男子 10000m競歩



- A1. 昨年、準優勝していたこともあり、最低でも3位以内でゴールしたいという思いがあったので、その目標を達成することができ、ホッとしました。一方、岩手県選手団の主将に任命していただいた中で、優勝に届かず悔しさも同時に感じました。
- A2. パリオリンピックから十分な準備期間もなく、連戦の中でもあったのでコンディショニングの面では苦労しました。レースで歩く距離も大会によって異なるため、休養と強化のバランスを上手く組み合わせながら準備することも難しい部分でした。
- A3. 大きな大会だからと意気込み過ぎずに、普段の練習通りのマインドで臨むことや、大会までに十分な練習を積み重ねて、自信を持って大会に備えることができたことが一番の要因ではないかと思います。
- A4. 年代問わず、他の種目の選手の方々と交流できたことはとても嬉しい経験となりました。競歩以外の種目の方と関わる機会が多いわけではないので、色々とお話できて非常に有意義な機会となりました。
- A5. 来年は東京で世界選手権が行われるので、自国開催の世界陸上に日本代表として出場できるように頑張りたいと思います。
- A6. パリオリンピックでのご声援をはじめ、いつも応援していただきありがとうございます。4年後のロサンゼルスオリンピックを目指して頑張っていきますので、引き続き応援よろしくお願いたします。
- A7. SAGA2024 国民スポーツ大会をはじめ、日頃よりご支援、ご声援ありがとうございます。岩手のスポーツ界を牽引する選手の一人となれるよう、世界を舞台に戦っていきたくと思いますので、変わらず応援していただけますと幸いです。また何かありましたらご協力させていただきますので、遠慮なくご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ホッケー 少年男子

- A1. 同率3位という結果でしたが、順位が決まった瞬間は素直に嬉しかったです。
- A2. インターハイ終了からすぐに切り替えて、国スポの練習が始まりました。練習では、プレスやセットプレーの強化をしてきましたが、始めのうちは皆で運動することが難しかったです。不來方高校の生徒を1名迎えての選抜チームでしたが、コミュニケーションを多くとる工夫をしました。
- A3. 3位決定戦は、前半2点リードされているという状況でしたが、追いつく力を持っているチームと確信して慌てず試合を展開することができました。練習中でのコミュニケーションが上手くいった結果だと思っています。
- A4. 岩手から佐賀までの新幹線と電車移動がつかかったです。現地でコンディショニングを長めにとって、試合まで調整しました。
- A5. インターハイ・国スポ・選抜大会3冠を目標に活動してきました。しかし、結果はどちらも3位だったので、最後の選抜大会は優勝目指して頑張りたいです。
- A6. 岩手県や様々な方からサポートをいただいて活動ができています。ホッケーはまだマイナーなスポーツですが、少しでも良い結果で恩返しできるようにこれからも頑張りますので今後も応援よろしくお願いたします！！



やまざきけんしろう
山崎拳士郎 選手

ウエイトリフティング競技
少年男子102kg超級
クリーン&ジャーク スナッチ

- A1. 高校最後の全国大会でメダルを取ることができ、とても嬉しかったです。

- A2. 怪我が多く、競技力を落とさないような練習を行うことが大変でした。
- A3. 今までやってきた練習を信じることや、先輩や後輩からの応援を貰っていたことです。
- A4. 自己記録を更新して、メダルを獲得することができたのが嬉しかったです。
- A5. 後輩に技術指導を行いながら、残りの学校生活を楽しんでいきたいです。
- A6. 応援していただきありがとうございます。ウエイトリフティング競技は男女関係なく楽しめる競技なので皆さんも是非、体験してみてください。



するがあい
駿河藍 選手

水泳競技
少年女子A 100m自由形

- A1. 嬉しかったです。予選から順位を上げ、自己ベストで終わったので良かったです。やっと岩手県に貢献できて良かったです。
- A2. 手と足のタイミングをばっちり合わせることです。日によってタイミングがあったりあわなかったりしたので修正するのが大変でした。
- A3. 自分を信じ、強い気持ちでレースに挑んだことです。食事の面でサポートしてくれた親や、練習の指導をしてくれた顧問の先生、コンディションを整えてもらったトレーナーさんなど、いろんな方のサポートのおかげです。
- A4. 決勝の入場の時、岩手県みんなが私の名前を呼んでくれて、嬉しかったです。「頑張ろう」という気持ちがさらに強くなりました。決勝で他県の速い選手と一緒にレースするのは楽しいなと思いました。
- A5. 国内の大きな大会だけではなく、日本代表に入り、海外での試合にも出れるように頑張ります。2028年のロサンゼルスオリンピック出場を目指して頑張りたいと思います。引退後はトレーナーとして選手をサポートしたいと思っているので、トレーナーの勉強も頑張りたいと思います。
- A6. みなさんの応援とサポートがあったからこそこの結果だと思っています。応援していただきありがとうございます。次はさらに良い結果を残し、報告できるよう、日々の練習を頑張っていきます。
- A7. 大学でももっと活躍し、今以上に結果を残せるように頑張ります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



第78回国民スポーツ大会(とまこまい国スポ 2024)(やまがた雪未来国スポ)(SAGA2024 国スポ) 入賞者

※印：スーパーキッズ修了生

順位	競技	種別	種目	入賞者(氏名・所属)
1位	スケート	成年男子	スピード1000m	松津 秀太(株式会社シリウスEHC)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	永井 健弘(盛岡市役所)
2位	ライフル射撃	成年男子	25mセンター・ファイア・ピストル30発	齊藤 和紀(岩手県警察)
	カヌー	成年女子	ワイルドウォーター スプリント	永井 茉未(岩手県スポーツ振興事業団)
3位	陸上	成年男子	10000m競歩	高橋 和生((株)ADワークスグループ)
	陸上	少年男子共通	800m	菊池 晴太(盛岡第四高等学校) ※
	ホッケー	少年男子		福士 紘平(沼宮内高等学校(教)) 府金 永悟(不来方高等学校) 佐々木 大輝(沼宮内高等学校) 早坂 勝真(沼宮内高等学校) 滝本 寛汰(沼宮内高等学校) 佐藤 優也(沼宮内高等学校) 横田 優翔(沼宮内高等学校) 藤原 悠真(沼宮内高等学校) 遠藤 晟連(沼宮内高等学校) 大村 冬吾(沼宮内高等学校) 小澤 一期(沼宮内高等学校) 菅原 仁希斗(沼宮内高等学校) 佐々木 颯太(沼宮内高等学校) 下田 侑樹(沼宮内高等学校)
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg超級 クリーン&ジャーク	山崎 拳士郎(盛岡工業高等学校)
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg超級 トータル	山崎 拳士郎(盛岡工業高等学校)
	自転車	男子 B	スクラッチ・レース8km	高橋 藍斗(盛岡農業高等学校)
	カヌー	成年女子	ワイルドウォーター 1500m	永井 茉未(岩手県スポーツ振興事業団)
	スケート	成年女子	スピード500m	松澤 優花里(サンエスコンサルタント株式会社)
	陸上	成年男子	やり投げ	長沼 元(スズキアスリートクラブ)
	水泳	成年女子	100mバタフライ	西澤 七海(神奈川大学)
	ホッケー	成年女子		瀧澤 璃菜(岩手町役場)、岩舘 優希(岩手町役場) 江田 真鈴(焼きたて屋カインズ今市店) 佐藤 風楠(盛岡看護医療大学校) 浮中 紗香(株式会社サンメディカル) 三上 舞子(天理大学)、遠藤 梨華(駿河台大学) 佐藤 瑞帆(グラクソ・スミスクライン) 遠藤 風蘭(放課後等デイサービス アバンツァーレスポーツ盛岡) 高橋 亜未(SWS東日本株式会社)、福士 真菜(立命館大学) 八幡 花香(株式会社N・フィールド訪問看護ステーション デューン滝沢) 遠藤 妃羅(岐阜県立大垣特別支援学校(教)) 岩崎 紗弥(東海学院大学)
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg超級 スナッチ	山崎 拳士郎(盛岡工業高等学校)
	スポーツライミング	少年男子	ボルダー	本明 佳(水沢高等学校) ※ 平瀬 太誠(水沢高等学校)
	カヌー	成年男子	カヤックシングル	藤野 浩太((株)ひめかゆ)
スケート	成年女子	スピード500m	熊谷 萌(有限会社マーベル美装)	
スケート	成年女子	スピード1000m	松澤 優花里(サンエスコンサルタント株式会社)	
スキー	成年男子 B	コンバインド	永井 陽一(安代中学校(教))	
5位	レスリング	少年男子	グレコローマン71kg級	伊藤 慎人(盛岡工業高等学校)
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級 スナッチ	齊藤 燈乃(金沢学院大学)
	ウエイトリフティング	成年男子	96kg級 クリーン&ジャーク	四役 航大(日本体育大学)
	ウエイトリフティング	成年男子	96kg級 トータル	四役 航大(日本体育大学)

順位	競技	種別	種目	入賞者(氏名・所属)
5位	ソフトボール	少年女子		佐藤 洋介(花巻南高等学校(教))、佐々木 葉里(花巻南高等学校) 及川 愉女(花巻南高等学校)、及川 未夢(花巻東高等学校) 奥野 姫生(花巻東高等学校)、畠山 彩心(花巻南高等学校) 高橋 こころ(花巻南高等学校)、鈴木 千奈(高田高等学校) 佐々木 春優(花巻南高等学校)、小野寺 彩芽(花巻南高等学校) 菅野 未遥(花巻南高等学校)、奈良岡 里穂(花巻東高等学校) 佐藤 希楓(花巻東高等学校)、舘洞 怜奈(宮古高等学校)
	アーチェリー	少年男子		佐々木 粋(盛岡工業高等学校)
	空手道	成年男子	形	在本 幸司((有)ツクバ精密)
	ボウリング	成年男子		菅原 奏(同志社大学)
6位	スキー	成年男子 B	スペシャルジャンプ	永井 健弘(盛岡市役所)
	陸上	成年女子	走高跳	八重樫 澄佳(筑波大学)
	水泳	少年女子 A	100m自由形	駿河 藍(盛岡南高等学校)
	ローイング	成年男子	シングルスカル	菅原 陸翔(日本大学) ※
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級 トータル	齊藤 燈乃(金沢学院大学)
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級 スナッチ	工藤 勇司(盛岡工業高等学校)
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級 トータル	工藤 勇司(盛岡工業高等学校)
	弓道	成年女子	近的	岩田 真由美(一関弓道会) 山地 菜央((株)岩手銀行) 村川 春圭(盛岡市役所)
	カヌー	少年男子	カナディアンペア500m	犬飼 晴也(不来方高等学校) 外館 舜優(不来方高等学校)
	スケート	少年女子	スピード500m	三浦 陽(盛岡工業高等学校) ※
7位	スキー	成年男子 B	コンバインド	柴草 陽祐(盛岡工業高等学校(職))
	陸上	成年男子	砲丸投	夏井 勇輝(小山田工業所)
	陸上	少年女子共通	走幅跳	大道 空(久慈高等学校)
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級 クリーン&ジャーク	齊藤 燈乃(金沢学院大学)
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級 クリーン&ジャーク	工藤 勇司(盛岡工業高等学校)
	カヌー	成年男子	ワイルドウォーター1500m	齋藤 晶文(岩手県薬剤師会検査センター)
	カヌー	少年男子	カナディアンペア200m	犬飼 晴也(不来方高等学校) 外館 舜優(不来方高等学校)
	スケート	少年女子	スピード1000m	三浦 陽(盛岡工業高等学校) ※
	スキー	成年男子 C	クロスカントリー	一ノ瀬 祐貴(岩手自衛隊)
	スキー	成年男子 A	コンバインド	三ヶ田 泰良(JR盛岡スキークラブ)
8位	スキー	少年男子	クロスカントリー 4×10kmリレー	内記 孝宗(盛岡南高等学校) 古舘 諒誠(盛岡南高等学校) 高橋 朋也(岩手高等学校) 新田 暁大(沢内中学校)
	セーリング	少年女子	420級	山田 梨七(宮古高等学校) 佐々木 詠美(宮古高等学校)
	ウエイトリフティング	成年男子	96kg級 スナッチ	四役 航大(日本体育大学)
	ウエイトリフティング	成年女子	49kg級 クリーン&ジャーク	鈴木 莉乃(岩谷堂高等学校(教))
	アーチェリー	成年女子		吉田 光里(近畿大学) 川淵 真弓(K.M.Lアカデミーアーチェリークラブ岩手) 小澤 楓夏(近畿大学) ※
	スキー	成年男子 A	クロスカントリー	大堰 徳(早稲田大学)
スキー	女子	クロスカントリー 4×5kmリレー	大堰 喜代(盛岡南高等学校) 小山田 凜花(盛岡南高等学校) 中嶋 愛優(東北福祉大学) 釜石 知奈(奥中山中学校)	

国スポ オフショット











SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。
第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

概要

佐賀県(佐賀市、伊万里市、嬉野市、唐津市、小城市、神埼市、武雄市 他) 令和6年10月26日(土)～28日(月) 本県選手団/143名

成績一覧

◆団体競技

バレーボール競技(知的・女子)

1回戦 岩手県 0-2 鹿児島県

交流戦 岩手県 0-2 佐賀県

バレーボール競技(知的・男子)

1回戦 岩手県 0-2 愛知県

交流戦 岩手県 2-0 山口県

交流戦 岩手県 0-2 東京都

グランドソフトボール競技

準決勝 岩手県 6-2 佐賀県

決勝 岩手県 0-14 福岡県 ※銀メダル

ソフトボール競技

1回戦 岩手県 3-5 長崎県

交流戦 岩手県 2-5 愛媛県

フットソフトボール競技

1回戦 岩手県 5-12 和歌山県

交流戦 岩手県 2-18 愛媛県

◆個人競技

選手団別記録一覧参照

※岩手県選手団…金メダル：7個 銀メダル
10個 銅メダル10個

個人競技 選手団別記録一覧

作成日：2024年11月13日

選手氏名	障害区分	年齢区分	競技名	種目名	順位
白石 朋毅	16	1部	陸上競技	50m	2
阿部 玲菜	25	1部	陸上競技	50m	2
坂井 結	26	1部	陸上競技	100m	4
佐藤 蒼士	27	少年	陸上競技	100m	6
千葉 すず	27	少年	陸上競技	100m	2
中居 倫琉	26	1部	陸上競技	100m	6
浜崎 七那斗	27	青年	陸上競技	100m	7
千葉 すず	27	少年	陸上競技	200m	4
浜崎 七那斗	27	青年	陸上競技	200m	7
福岡 健治	27	青年	陸上競技	400m	6
福岡 健治	27	青年	陸上競技	800m	7
今野 蒼大	27	少年	陸上競技	800m	6
今野 蒼大	27	少年	陸上競技	1500m	5
今野 蒼大	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	3
佐藤 蒼士	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	3
千葉 すず	27	少年	陸上競技	4×100mリレー	3
浜崎 七那斗	27	青年	陸上競技	4×100mリレー	3
東山 江梨子	04	2部	陸上競技	ジャベリックスロー	2
白石 朋毅	16	1部	陸上競技	ビーンバッグ投	3
阿部 玲菜	25	1部	陸上競技	砲丸投	1
東山 江梨子	04	2部	陸上競技	立幅跳	1
坂井 結	26	1部	陸上競技	走幅跳	3
佐藤 蒼士	27	少年	陸上競技	走幅跳	2
中居 倫琉	26	1部	陸上競技	走幅跳	4
堀 陽雲	26	少年	水泳	25m自由形	7
山口 文子	08	2部	水泳	25m自由形	1
東 誠士	26	少年	水泳	50m自由形	3
千葉 龍成	02	1部	水泳	50m自由形	1
堀 陽雲	26	少年	水泳	50m自由形	7
山口 文子	08	2部	水泳	25mバタフライ	2
東 誠士	26	少年	水泳	50mバタフライ	5
千葉 龍成	02	1部	水泳	50mバタフライ	1
阿部 光勝	19	壮年	卓球	一般卓球	3
小野寺 杏太	02	1部	卓球	一般卓球	2
金野 滉己	19	青年	卓球	一般卓球	3
金野 和広	18	壮年	卓球	一般卓球	3
佐藤 侑亮	18	少年	卓球	一般卓球	3
高橋 陽太	15	1部	卓球	STT	2
熱海 共嬉	02	-	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	1
千葉 つえ子	02	-	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	3
中里 幸也	02	-	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	5
袴田 茜	02	-	フライングディスク	アキュラシーディスリート・ファイブ	1
熱海 共嬉	02	-	フライングディスク	ディスタンス メンズ・スタンディング	2
千葉 つえ子	02	-	フライングディスク	ディスタンス レディース・スタンディング	4
中里 幸也	02	-	フライングディスク	ディスタンス メンズ・スタンディング	5
袴田 茜	02	-	フライングディスク	ディスタンス レディース・スタンディング	3
近藤 豊	10	1部	ボッチャ	ボッチャ	2
佐藤 徳泰	09	2部	ボッチャ	ボッチャ	2
向田 宏美	01	壮年	ボウリング	ボウリング	5
佐々木 穂高	06	-	アーチェリー	コンパウンド30mダブルラウンド	4

Athlete Voice 入賞者の声

▶ 質問内容

- Q1. 順位が決まった瞬間のお気持ちをお聞かせください。
 Q2. 日々の練習や強化を進める段階で、ご苦労されたことなどがあればお願いします。
 Q3. 今回の成績を獲得することができた要因や勝利への秘策などがあれば教えてください。
 Q4. 今回の大会期間中、嬉しいこと、楽しいこと、大変だったことなど、印象に残ったことがあれば教えてください。
 Q5. 今後の目標や今後の競技生活の展望があれば教えてください。
 Q6. 岩手県の皆さんにお伝えしたいことがあればお書きください。
 Q7. 何でもご自由にお書きください

千葉すすず 選手 陸上競技 100m 200m 4×100mリレー

- A1. 100mは、全国大会で初めて2位をとったこと、自己ベストを更新できて最高にうれしかった。4×100mリレーは、4人で力を合わせて3位に入賞できてとてもうれしかった。
 A2. 課題だった腕の振り方、スターティングブロックの設置とスタートの仕方を身に付けることを一生懸命練習した。
 A3. 練習時間はあまりありませんでしたが、課題だった腕振りや地面を強く蹴ることを意識して取り組んだことが、いい結果につながったと思う。
 A4. 岩手県選手団の皆さんや、同じ競技に出場した他県の選手の人たちとお話したり写真撮ったりして友達になることができてうれしかった。
 A5. パラバドミントンID7で日本のユニフォームを着て代表になることと、陸上競技も続けてもっと速く走れるようになりたい。
 A6. バドミントンも陸上競技も頑張るので応援をよろしくをお願いします。



あつみともき 選手 フライングディスク競技 アキュラシー ディスリート・ファイブ ディスタンス メンズ・スタンディング



- A1. 嬉しかったです。頭がおかしくなりました。
 A2. アキュラシーでは手を離す位置、どんな姿勢で投げるのか。ディスタンスではディスクを縦に出して投げる。ヘソを前に向けて投げるなどの動作を一緒に行うことが難しかった。
 A3. 今回メダルがとれたのは、一生懸命練習したこと、監督やコーチが適確なアドバイスをしてくださったこと、当日も練習以上のプレーができたことが要因だと思います。監督やコーチ、応援してくれた人に感謝でいっぱいです。
 A4. 大会期間中、美味しい物（ラーメン）を食べたり、他の人のプレーを見て学んだりできました。
 A5. 今度はソフトボール競技に出場したいと考えています。フライングディスクの練習を通して努力すれば結果がついてくるのがわかったので、来年も全国大会に団体競技で出場できればいいなと思っています。
 A6. 今回の大会に参加して、障害を持っている人も何か目標を作り、その目標へと近づけるように努力することが大切だと感じました。目標を達成できて達成感や充実感でいっぱいになりました。
 A7. 今回の大会を通して練習から頑張ってきてその成果を出すことができたこと、佐賀でしか見られない風景や食べ物を食べることができたこと、これはすべて私のことを応援していただいた方、推薦していただいた方のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

しらいしともき 選手 陸上競技 ビーンバッグ投 50m

- A1. 1位じゃなくて悔しかったけれど、銀メダルが嬉しかったです。
 A2. 練習をたくさんして手首が擦りむけて、少し痛かったです。ビーンバッグの投げ方が難しかったです。
 A3. よく食べてよく寝ました。
 A4. 大会と一緒にいったみんなと仲良くなれて嬉しかったです。
 A5. また全国大会へ行けるようにがんばります。
 A6. スポーツは楽しいです！
 A7. ポッチャなど、いろいろなことにチャレンジしたいです。



スポーツ振興くじ助成金助成事業について

日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじ助成金の交付を受け、以下の事業を行っています。

●事業内容

- ①スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ情報の提供
 広報誌「Sports いわて」の発行 ※95号より「体協いわて」から名称変更
 ②総合型地域スポーツクラブ活動助成
 クラブアドバイザー等配置
 岩手県スポーツ協会クラブアドバイザー配置事業

●事業概要

- ①本協会・加盟団体等の活動状況を知ってもらうため、広報誌「Sports いわて」を発行する。広報誌を通じて県内外に広く発信し、本協会の取り組みについての理解と支援・協力を図るとともに、スポーツ振興の一助とする。
 ②専門的な知識や豊富な実績を持つクラブアドバイザーが指導や助言を行うことで、県内の総合型クラブの創設及び育成の促進を図る。

●助成金交付額

- 令和5年度確定額
 ① 716,000円 ② 2,901,000円
 令和6年度決定額
 ① 1,107,000円 ② 3,816,000円

●事業実施状況

- ①年2回合計3,500部を作成し、県内小中高等学校、スポーツ団体、スポーツ施設などに配布。(第93号：令和5年12月発行、第94号：令和6年3月発行) 令和6年度は第95号・第96号を発行予定。
 ②クラブアドバイザー1名を配置し、総合型クラブ等への指導・助言を実施。

スポーツくじ



第78回国民スポーツ大会

「SAGA2024」総合開会式

「新しい大会 SAGA2024」と名打った今回の「国民体育大会」名称改め、「国民スポーツ大会」。開催地の佐賀県は、これまでの国体のイメージを一新すべく、そのメインとなる「総合開会式」が10月5日（日）SAGA国スポのメイン会場である「SAGA スタジアム」にて開催された。



我々岩手県選手団は、開催県から割り当てられた競技の中で参加可能な5競技（相撲、レスリング、ウエイトリフティング、フェンシング、バレーボール）と本部役員総勢56名（選手・監督38名、役員18名）での参加となった。明らかに体の大きいたくましい選手団編成となった本県選手団の中で、旗手を務めたのはフェンシング成年女子の千葉穂波選手である。普段は細いフェンシングの剣を持ち競技する選手だが、今回は岩手県旗を持ち、風に煽られながらグラウンドを歩かなければならず、体力面が心配されたが、さすがはアスリート。そんな心配はご無用とばかりに、笑顔で颯爽と歩く姿が印象的であった。

さて、今回の総合開会式では、従来の各県ごとに隊列を組んで行進し、天皇后両陛下の前では「頭右」をするこれまでの方式を取りやめ、「自由に隊形を組まずに行進し、最後に県のアピール」することが前年度12月の事務局会議で決定。それからは岩手県選手団として、いかに岩手のアピールを行うか検討協議を進め、最終的に、岩手で人をもてなす象徴と言われる「わんこそば」と国内漆生産量日本一を誇る漆を使った岩手の「漆器」、この2つをかけあわせた本県メインキャラクターである『そばっち』のぬいぐるみを持ちながら、ドラマあまちゃんで全国区となり、岩手県の方で驚いた時に用いる言葉『じぇじぇじぇ！』の掛け声で、新しい大会への驚きと参加する選手が驚くような競技パフォーマンスを発揮できることを願い、これらを用いて岩手県のアピールとすることを決め準備練習を進めた。

当日は悪天候も予想され、ブルーインパルスの展示飛行が

中止となる中、一時雨にも当たりながらもなんとか岩手県選手団結団式、行進練習を無事行うことができた。

結団式では岩手県スポーツ協会会長（達増知事）からの激励、そして選手団全員での「エイ・エイ・オー」の掛け声のもと、いざ開会式へ！

アピールの事前練習では、達増会長が率先して練習に取り組んでくれ、選手団のボルテージも最高潮となる中、いざメインスタンドへ突入した。



びっしりと詰まった観客席からの声援を受けながら、そばっちのぬいぐるみを高々と掲げ、笑顔や手を振りながら行進する岩手県選手団。

炬火台の脇を通り、アピールポイントで集合隊形になった瞬間「YES！いわてけ～ん！」のアナウンス。担当者からの「いわて！」そして選手団の『じぇじぇじぇ！』と会長一同バッチリと息の合った岩手県のアピールを、天皇皇后両陛下へ、そして全国の皆様へ元気な姿をお届けすることができた。

今回、すべてが新しい内容で関係者には気苦労が絶えなかったと思うが、選手団一同は一体となって岩手県のアピールという貴重な経験を積み、国スポの決戦へ臨む闘志を掻き立てることができた、そんな総合開会式参加であった。

